



各位

2018年4月9日  
株式会社ファンペップ

### 大日本住友製薬株式会社との 抗体誘導ペプチドに関するオプション契約締結のお知らせ

株式会社ファンペップ（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井昭光、以下「ファンペップ」という。）は、ファンペップが技術を有する免疫疾患に関する抗体誘導ペプチド（以下、「本剤」という。）について、大日本住友製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：野村博、以下「大日本住友製薬」という。）との間で、2016年9月から共同研究を進めてまいりましたが、この度、本剤に関するオプション契約（以下、「本契約」）を締結しましたので、お知らせします。

本契約に基づき、大日本住友製薬は、ファンペップが実施予定の初期臨床試験の結果に基づいてオプション権を行使し、両者の協議が整った場合、本剤の北米における独占的開発及び販売権を取得いたします。なお、北米以外の地域については、大日本住友製薬が本剤の事業化についての優先交渉権を保有しています。

また、本契約締結と同時に、両社は、抗体誘導ペプチド技術の精神神経領域への適用を目的とした研究・開発等に関する契約も締結しました。

本剤は免疫疾患の原因物質を標的とする抗体誘導ペプチドです。

抗体誘導ペプチドは、標的分子の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされたペプチド医薬であり、数ヶ月に一回の投与で抗体を維持し、持続的な薬効を期待できることが特徴です。また、バイオ製造設備への多額の投資が必要な抗体医薬に比べて、安価な代替技術となる可能性もあります。

現在、ファンペップが本剤の研究開発を進めており、抗体医薬品と比較し、投与間隔が長く利便性の高い長期作用型医薬品として将来の治療選択肢となることを目指しています。

ファンペップは、本契約の締結に伴い、大日本住友製薬から契約時及び臨床試験開始時に対価を受取ります。また、オプション権が行使された場合には、一時金及び開発段階に応じた開発マイルストーン、さらに販売後は販売額に応じたロイヤリティ及び販売額の目標達成に応じた販売マイルストーンを受取る予定です。



(ご参考)

<用語解説>

・ 抗体誘導ペプチド

抗体誘導ペプチドは、標的分子の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされたペプチド医薬です。

感染症予防ワクチン等の従来のワクチンと異なり、獲得免疫システムのうち、細胞性免疫（細胞障害性T細胞）を活性化させずに、抗体産生に関連する液性免疫（B細胞）を選択的に活性化させることが特徴です。これにより、細胞性免疫を活性化することによる副作用（自己免疫反応）を回避し、生活習慣病等の慢性疾患治療薬として実用化することを目指しています。

ファンペップでは、抗体産生を選択的に誘導することから、このペプチドを「抗体誘導ペプチド」と呼んでいます。

【大日本住友製薬について】

大日本住友製薬は、アンメット・メディカル・ニーズの高い精神神経領域およびがん領域を重点領域とし、革新的な医薬品の創製を目指しています。さらに、再生・細胞医薬分野の研究開発にも取り組んでいます。

【ファンペップについて】

ファンペップは、大阪大学大学院医学系研究科の機能性ペプチドに関する研究成果を実用化する目的で2013年に設立されたバイオベンチャー企業です。

大阪大学との共同研究により、様々な標的に対する抗体誘導ペプチドの研究開発を進めております。

○ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ファンペップ 管理部

東京オフィス：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-4 第7 瑞穂ビル 3 階

Tel : 03-5315-4200 Fax : 03-5315-4203

E-mail : info-fpp@funpep.co.jp

以上